



重点指導事項（小学部）		
<p>人と「かかわる」(A)</p> <p>家族や教師，友達等身近な人々と接しながら，挨拶や返事をして，自分の気持ちを伝えることができるよう支援する。</p>	<p>よりよい生き方を「もとめる」(B)</p> <p>自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組むことができるよう支援する。</p>	<p>社会での役割を「はたす」(C)</p> <p>家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組むことができるよう支援する。</p>

各教育活動における取り組みの観点	
日常生活の指導	○児童の日常生活が充実し，高まるように日常生活の諸活動を適切に指導する。
遊びの指導	○遊びを学習活動の中心に据えて，身体活動を活発にし，仲間との関わりを促し，意欲的な活動を育み，心身の発達を促す。
生活単元学習	○生活上の目標を達成したり，課題を解決したりするために，一連の活動を組織的に経験することによって，自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習する。
国語	○生活に必要な国語についての理解を深め，伝え合う力を高めるとともに，それらを適切に活用する能力と態度を育てる。
算数	○生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め，それらを活用する能力と態度を育てる。
音楽	○表現及び鑑賞の能力を伸ばし，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
体育	○適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して，心身の調和的発達を図り，明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。
道徳	○学校教育活動全体を通じて，道徳的な心情，判断力，実践意欲と態度などの道徳性を養う。
特別活動	○望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り，集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度を育てるとともに，人間としての生き方についての自覚を深め，自己を生かす能力を養う。
自立活動	○児童が自立を目指し，障害による学習上や生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。

学部目標	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部では教育活動を人間形成にとって基礎となる重要なものにとらえ，児童一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた指導を行う。 ・身近な人たちの関わりの中で，生活経験を増やし，日常生活に必要な基本的な生活習慣や基礎的な知識・技能の習得と，調和のとれた心身の発達を促すことができるよう支援する。
各学年の取り組み内容	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や身近な人の呼名に応じて，返事や身振りなどで，応えることができるよう支援する。 ・教師や身近な人からの挨拶に応じて，言葉や身振りなどで，応えることができるよう支援する。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや学習に対して興味をもって取り組みことができるよう支援する。 ・教師や身近な人に対して自ら挨拶をすることができるよう支援する。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動や清掃などに興味をもち積極的に，取り組むことができるよう支援する。 ・教師や身近な人に対して，自分の気持ちを伝えることができるよう支援する。

家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用した緊密な連絡 ・基本的生活習慣の確立に向けての協力 ・学校だよりや学部だより等での啓発 ・地域の行事や連携会議，公開講座等への参加の呼びかけ

地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくり ・地域における特別支援教育のセンター的機能の充実促進 ・近隣の小学校や青年会議所の方との交流及び地域交流の促進 ・運動会，ゆめ花祭，学校見学会等を通しての理解啓発 ・個別の教育支援計画策定を通じた関係機関との緊密な連携の構築